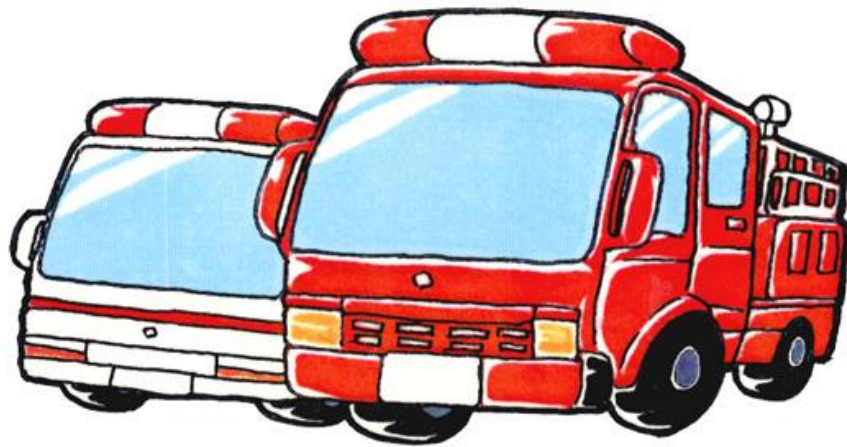


消防団関係



糸満市消防団の沿革

昭和 21 年 4 月	終戦により消防団再編 常備団5名 軍払下げガソリンポンプけん引車配置
昭和 24 年	ガリオア資金により水槽付ポンプ自動車1台購入配置
昭和 25 年	消防隊長に兼島 景俊 就任する
10 月	軍布令第28号（消防に関する法律）施行される
11 月	糸満町消防団を糸満町消防隊に改称する 隊員（常備）6名
昭和 26 年 8 月	ガリオア資金により消防三輪ポンプ自動車1台購入配置
10 月	消防車車庫、糸満ロータリー前に完成（木造2階建）
昭和 28 年	消防隊長 兼島 景俊 退任
2 月 3 日	消防隊長に城田 徳尚 就任
昭和 29 年	米軍より払下げ水槽付ポンプ自動車1台配備
昭和 33 年	米軍より払下げジープ車（改造してポンプ車）配置
昭和 35 年 5 月	字糸満無番地（埋立地）に消防庁舎新築完成（鉄筋コンクリート2階建）
12 月 31 日	消防隊長 城田 徳尚 退任
昭和 36 年 1 月 1 日	消防隊長に金城 宏有 就任
10 月 1 日	4ヶ町村（糸満町、兼城村、高嶺村、三和村）合併、新糸満町誕生 合併に伴い改造ジープ車2台配置（三和村、兼城村より移管） 新町誕生により職員定数条例改正 常備職員6名 非常備106名
昭和 37 年 6 月 15 日	消防組織法施行される（沖縄）
12 月	同上法施行により糸満町消防団に改称する 消防団長に金城 宏有 就任 職員定数条例改正 常備職員2名増（定数8名）
昭和 38 年 3 月 31 日	消防団長 金城 宏有 退任
4 月 1 日	初代消防長に金城 宏有 就任 新消防団長に大城 敏一 就任
昭和 38 年 4 月 11 日	糸満町消防条例ならびに糸満町消防本部設置規則により、糸満町消防本部を設置する 常備職員8名 非常備108名
昭和 40 年 8 月	糸満町消防団の定数条例改正により団員80名となる
昭和 46 年 12 月 1 日	糸満市に昇格、新糸満市誕生
昭和 47 年 5 月 15 日	本土復帰 糸満市消防団の設置等に関する条例施行 消防団員定数50名
昭和 54 年 3 月 5 日	消防団長 大城 敏一氏 消防庁長官より永年勤続功労章を受章
5 月 25 日	消防団長 大城 敏一氏 藍綬褒章を受章

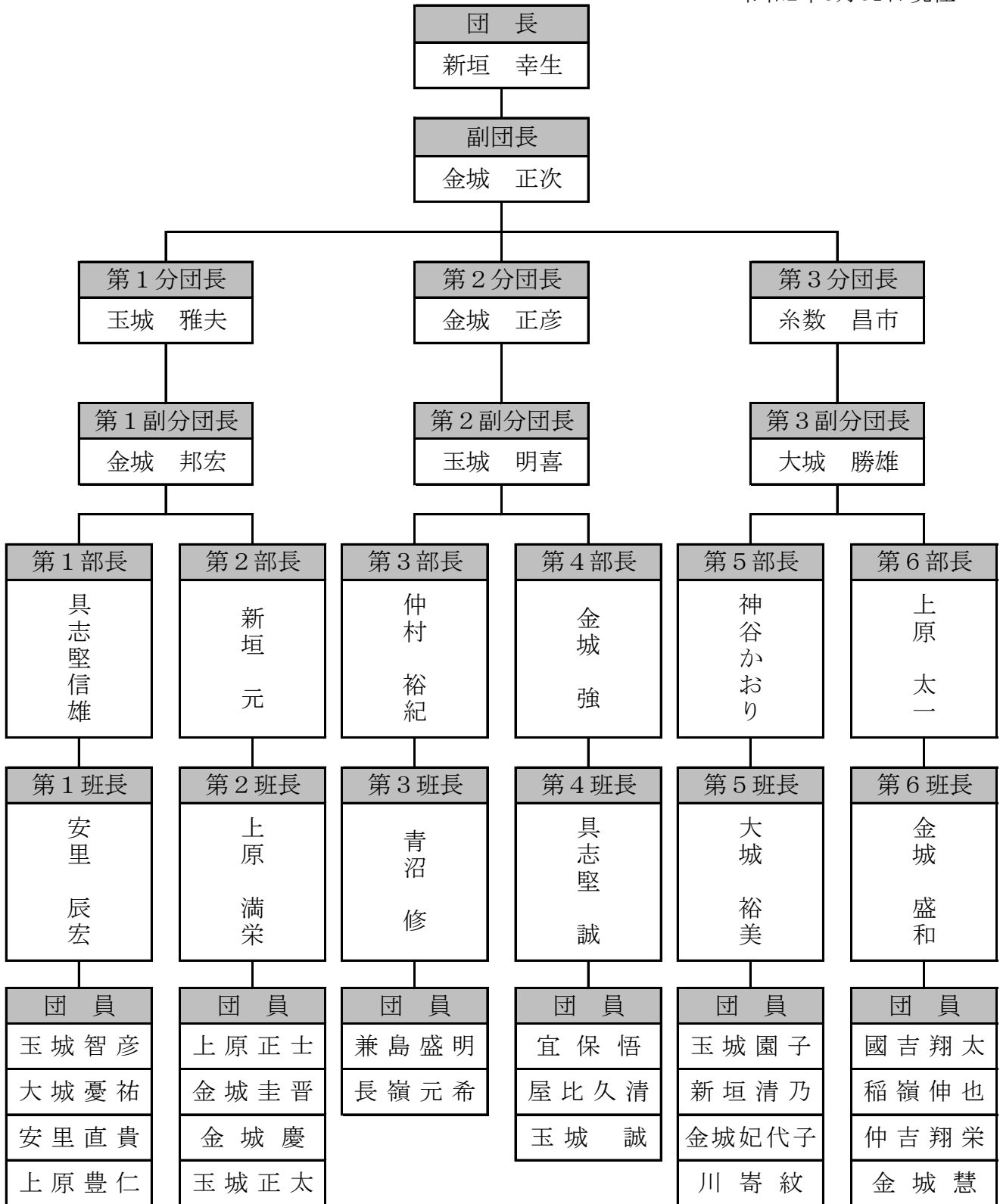
昭和 61 年	2 月 10 日	日本消防協会長より表彰旗を授与される
	3 月 5 日	分団長 上原 満雄氏 消防庁長官から永年勤続章を受章
	4 月 1 日	消防団の報酬及び費用弁償条例を改正する
昭和 62 年	4 月 29 日	分団長 上原 満雄氏 勲六等瑞宝章を受章
昭和 63 年	8 月 7 日	第2回 糸満市消防団操法大会を実施する（県水産公社地先）
平成 2 年	3 月 1 日	新消防庁舎に移転業務開始
平成 3 年	5 月 24 日	消防団長 大城 敏一氏 沖縄県消防協会長に就任
平成 5 年	2 月 16 日	消防団長 大城 敏一氏 日本消防協会特別功労章を受章
平成 6 年	3 月 31 日	消防団長 大城 敏一 退団
	4 月 1 日	新消防団長に波平 一男 就任
平成 8 年	3 月 6 日	糸満市消防本部・消防団へ消防庁長官より竿頭綬を授与される
	10 月 17 日	小型動力ポンプ付水槽車配備（寄贈：日本消防協会）
平成 10 年	5 月 7 日	前消防団長 大城 敏一氏 勲五等双光旭日章受章
平成 17 年	3 月 3 日	糸満市消防本部・消防団へ消防庁長官より表彰旗を授与される
	6 月 30 日	団員 1名 退団 実員47名
	7 月 1 日	団員 2名 入団 実員49名
	8 月 29 日	糸満市消防団活性化検討委員会発足 団員10名に市長より委嘱状が交付される
	10 月 27 日	第19回 沖縄県消防操法大会 女性小型ポンプ操法の部 本市女性消防団チーム2位
平成 18 年	9 月 1 日	団員 1名 入団 実員50名
	9 月 27 日	第3回 糸満市消防団操法大会実施（消防本部構内）
平成 19 年	1 月 26 日	平成19年文化財防火デー 国登録有形文化財、 金城 増治家住宅主屋（字真壁223番地）の火災防御訓練実施
	3 月 27 日	糸満市消防団活性化検討委員会より市長へ消防団活性化検討事項の報告
	3 月 31 日	団員 11名 退団 実員39名
	4 月 1 日	団員 1名 入団 実員40名
	5 月 30 日	マスターズボール糸満 火災 0時47分119番入電 17時03分鎮火 活動職員83名（内近隣消防応援46名）団員20名 車両23台
	7 月 1 日	団員 3名 入団 実員43名
	8 月 1 日	団員 2名 入団 実員45名
平成 20 年	2 月 17 日	糸満市総合防災訓練実施（潮崎町）
	5 月 1 日	団員 2名 入団 実員47名
	6 月 30 日	消防団長 波平 一男 退任 実員46名
	7 月 1 日	新消防団長 新垣 幸生 就任 実員46名
	11 月 1 日	団員 2名 入団 実員48名

平成 21 年	3 月 31 日	団員 4名 退団 実員44名
	6 月 30 日	団員 1名 退団 実員43名
	7 月 19 日	団員による救急法移動教室開講
	8 月 1 日	団員 1名 入団 実員44名
平成 22 年	10 月 1 日	団員 1名 入団 実員45名
	12 月 1 日	団員 1名 入団 実員46名
平成 23 年	6 月 1 日	団員 1名 入団 実員47名
	9 月 1 日	団員 1名 入団 実員48名
	10 月 7 日	第30回 南部消防操法大会 (総合優勝)
	10 月 27 日	第22回 沖縄県消防操法大会 ポンプ車操法の部 (2位)
	11 月 3 日	前消防団長 波平 一男氏 秋の叙勲瑞宝双光章 受章
平成 24 年	3 月 21 日	団員 1名 退団 実員47名
	3 月 31 日	団員 1名 退団 実員46名
	6 月 1 日	団員 1名 入団 実員47名
	11 月 1 日	団員 1名 入団 実員48名
	11 月 18 日	第32回 全国豊かな海づくり大会 行幸啓消防警備
平成 25 年	1 月 20 日	糸満市総合防災訓練実施 (糸満漁港北地区)
	6 月 1 日	団員 1名 入団 実員49名
	7 月 28 日	防災機材配備 コミュニティ助成(地域防災組織育成助成事業) 煙体験ハウス・ロスコスモークマシーン・コンプレッサー 投光機・角型水槽 各一式 訓練用消火器12本
	10 月 2 日	第31回 南部消防操法大会 (総合2位)
	11 月 1 日	団員 1名 入団 実員50名
	11 月 25 日	自治体消防65周年・消防団120周年記念事業(団長・総務課長出席) 東京ドーム
平成 26 年	1 月 20 日	糸豊環境美化センター工場棟 建物火災 15時58分 119入電 1月21日00時20分 鎮火 活動人員 10名 車両 2台
	3 月 31 日	団員 3名 退団 実員47名
	10 月 1 日	団員 3名 入団 実員50名
平成 27 年	9 月 29 日	第32回 南部消防操法大会 (総合2位) 応用訓練1位
平成 28 年	2 月 3 日	救助資機材搭載型消防ポンプ自動車 配備 (総務省消防庁無償貸付)
	7 月 31 日	団員 2名 退団 実員48名
	12 月 13 日	公益財団法人日本消防協会より防災活動車 寄贈
平成 29 年	6 月 30 日	団員 3名 退団 実員45名 (女性団員5名)
	8 月 1 日	団員 2名 入団 実員47名 (女性団員6名)

平成 29 年	9 月 22 日	第33回南部消防操法大会（総合優勝） 応用訓練1位、着装競技1位
	10 月 19 日	第25回沖縄県消防操法大会
	12 月 31 日	団員 1名 退団 実員46名（女性団員6名）
平成 30 年	1 月 2 日	富士盛産業 火災 15時27分119番入電 1月4日13時30分鎮火 活動人員1月2日 17名 1月3日 16名 車両2台
	3 月 27 日	沖縄県消防表彰 分団長 糸数昌市 永年勤続功労章 受章 部長 上原清 永年勤続功労章 受章 日本消防協会表彰 分団長 玉城 雅夫 精積章 受章 分団長 金城 正彦 勤続章 受章
	5 月 1 日	団員 2名 退団 実員44名（女性団員6名）
	7 月 31 日	団員 2名 退団 実員42名（女性団員6名）
	8 月 1 日	団員 1名 入団 実員43名（女性団員6名）
	11 月 19 日	団員 1名 退団 実員42名（女性団員6名）
令和 元年	9 月 27 日	第34回南部消防操法大会（総合優勝） ポンプ車操法の部1位, 応用訓練1位 小型ポンプ操法の部3位, 着装競技3位
	10 月 31 日	第26回沖縄県消防操法大会
令和 2 年	1 月 15 日	団員 1名 退団 実員41名（女性団員6名）
	3 月 3 日	日本消防協会表彰 副分団長 大城 勝雄 精積章 受章 副分団長 金城 邦宏 勤続章 受章

糸満市消防団 組織図

令和2年3月31日現在



消防団員の定数及び実員

令和2年3月31日現在

階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
定数	1	1	3	3	6	6	30	50
実員	1	1	3	3	6	6	21	41

消防団員の報酬及び費用弁償

令和2年3月31日現在

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
年報報酬	63,000円	50,000円	40,000円	35,000円	27,000円	24,000円	22,000円

費用弁償	水火災の場合	1回につき	4時間未満 3,000円	4時間以上 8時間未満 5,000円	8時間以上 8,000円
	警戒の場合 訓練の場合 その他の場合	1日につき	4時間未満 3,000円	4時間以上 8時間未満 5,000円	8時間以上 8,000円
旅費	市職員の旅費規定に準じて支給する				

消防団員の出動状況

令和2年3月31日現在 (人)

月別	区分	水火災	救急救助	警戒	訓練	その他				計
						広報・指導	行事	幹部会	その他	
4月							13		13	
5月			1						1	
6月					49				49	
7月	7				92				99	
8月					134		14		148	
9月					170			20	190	
10月	1				132			17	150	
11月	2				26			24	52	
12月						22	10	9	41	
1月	1				12				13	
2月	6				1				7	
3月			1						1	
計		17	2	0	616	22	0	37	70	764

分団別消防団員数

令和2年3月31日現在

階級別 分団別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
団本部	1	1						2
第1分団			1	1	2	2	8	14
第2分団			1	1	2	2	5	11
第3分団			1	1	2	2	8	14
計	1	1	3	3	6	6	21	41

消防団員の階級別職業構成

令和2年3月31日現在

階級別 職業別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
運輸・通信業							1	1
卸売・小売								0
ガス・電気			1		1	1	1	4
公務員				1		2	4	7
サービス業					2	1	6	9
修理・製造業	1	1						2
団体職員				1			2	3
農業								0
その他			2	1	3	2	7	15
計	1	1	3	3	6	6	21	41

消防団員の階級別勤続年数構成

令和2年3月31日現在

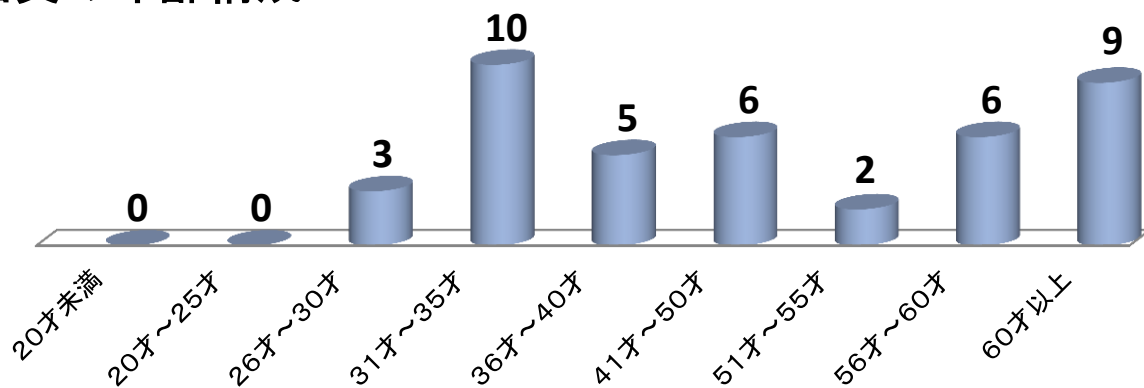
階級別 勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
5年未満							3	3
5年～10年						3	8	11
11年～15年					2	1	6	9
16年～20年					1	1	2	4
21年～25年				1			2	3
26年～30年								0
31年以上	1	1	3	2	3	1		11
計	1	1	3	3	6	6	21	41
平均勤続年数	32	53	39	30	24	14	9	17

消防団員の年齢構成

令和2年3月31日現在

階級別 年齢別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
平均年齢	60才	80才	62才	56才	53才	42才	37才	45才
20才未満								0
20才～25才								0
26才～30才							3	3
31才～35才						1	9	10
36才～40才						2	3	5
41才～50才					1	3	2	6
51才～55才				1	1			2
56才～60才		1	1		1	1	2	6
60才以上	1	1	2	1	2		2	9

団員の年齢構成



年度毎入団・退団状況

区分	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (R1年度)
定数		50	50	50	50	50	50	50	50
実員数		48	50	50	50	48	46	42	41
入団者数		2	2	3	0	0	4	1	0
退団者数		0	3	0	0	2	2	5	1